

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 認定

回復期セラピストマネジャーコース



2025 年度開講

第 15 期 開催のご案内

1クール・5クールのみ、「会場開催」といたします。
全ての日程、開催場所につきまして、必ずご理解・ご了承の上、
お申し込みをよろしくお願い申し上げます。

問合せ先 回復期リハビリテーション病棟協会 事務局
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 9 階
FAX : 03-5281-8535 E-mail : kaifukuki@rehabili.jp

一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会 主催
2025 年度 回復期セラピストマネジャーコース
第 15 期 開催概要

拝啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

回復期リハ病棟の制度ができ病棟数は増加傾向にあり、既に回復期リハ病棟に従事している PT・OT・ST(以下、セラピスト)数は、約 1 万 5 千人超となっています。多職種のスタッフがチームを組んで自宅復帰を目指す回復期リハ病棟においては、病棟におけるマネジメントは重要な課題です。

本会では、この課題解決に向けて、病棟マネジメントにもセラピストが積極的に関わるべきであると考え、2011 年度より「回復期セラピストマネジャーコース」を開講いたしました。以下の目的に沿った、17 日間に亘る経験豊かな講師陣による充実した講義を受講でき、大変有意義なコースです。

目的:入院患者及びその家族に対する質の高いリハビリテーションサービスの提供は当然のこと、人的・環境的リスクに関するリスク管理及び多職種との協働、さらに病棟運営に寄与し組織管理を実践できる回復期リハビリテーション病棟におけるセラピストマネジャーとしての PT・OT・ST を育成すること

認定証:要件を満たした者に対して、回復期リハビリテーション病棟協会会長名で認定証を交付します。

できるだけ多くの会員病院様にご参加いただきたく、原則として 1 病院より 2 名までの参加とさせていただきます。

開催概要

① 開催期間

※1・5 クールは会場開催(ハイブリッド開催ではございません)、2~4 クールは Web 開催とします。

第 1 クール(2 日間):2025 年 6 月 3 日(火)~6 月 4 日(水) :**会場開催**

第 2 クール(4 日間):2025 年 7 月 8 日(火)~7 月 11 日(金):**Web 開催**

第 3 クール(5 日間):2025 年 8 月 25 日(月)~8 月 29 日(金):**Web 開催**

第 4 クール(4 日間):2025 年 9 月 16 日(火)~9 月 19 日(金):**Web 開催**

第 5 クール(2 日間):2025 年 10 月 30 日(木)~10 月 31 日(金):**会場開催**

試験日:2025 年 11 月 4 日(火)

* 試験は、各都道府県の外部試験会場にて、各自受講頂く形式(Web)になります。詳細は第 1 クール開講後にお知らせします。

* 各日、開講科目によって、開始時間、終了時間共に異なります。(基本:AM9:00 頃~18:00 頃予定)予めご了承頂き、お申し込みください。

②定員:150 名(先着順)

③開催方法

<会場開催:1 クール、5 クール>

※ハイブリッド開催ではございません。全員会場でご参加頂きます。

会場名:AP 東京八重洲 (<https://www.tc-forum.co.jp/ap-yaesu/access/>)

住所:〒104-0031 東京都中央区京橋 1-10-7 KPP 八重洲ビル

<Web 開催:2 クール、3 クール、4 クール>

※ZOOM を使用し開催致します。上記期間、プログラムにあわせて受講者の皆様は、ZOOM へ入室頂きご参加頂く形になります。

※講義は、講師の先生のご都合等により「事前録画」または「リアルタイム講義」を選択頂き

上記期間、ZOOM にて配信をさせて頂く形になります。なお、「事前録画」の場合も、質疑応答については、リアルタイムにて講師の方に ZOOM に参加頂き、受講者の皆様の質疑に対応頂く予定です。

<注意事項:必ず以下ご確認ください。>

- ①当日の受講者様のネット環境や機材トラブル等が発生した際には、協会では保障いたしかねます。
- ②当日は、可能であれば、「有線接続」を推奨します。無線接続(Wi-Fi)の場合は、遅延、画面のフリーズ、オーディオ音質が悪い、または ZOOM ミーティングが切断される問題が発生する可能性があります。
- ③各受講者 1台の PC で ZOOM を通じて参加する必要があり、他の受講者とともに1台の PC で受講することは認められません。(※携帯電話やタブレットでの受講は禁止です。必ず室内で受講して下さい。)

※プログラムや詳細の連絡は、確定次第、ご連絡します。(第 1 クールの約 2 ヶ月～1 ヶ月半前を予定)

2025 年度研修費用:200,000 円

※自己都合によるキャンセルは、キャンセル料がかかります。当会ホームページ「学ぶ」のページよりキャンセル規定についてお読みください。

※17 日間の研修受講料・認定証授与式代等を含みます。

<④応募要件:次の①～⑦の要件をすべて満たしている者<必ず事前にご確認をお願いします>

- ①PT・OT・ST 協会会員いずれかに所属
- ②本会会員施設に所属
- ③療法士免許取得後実務経験 8 年以上(第 1 クール初日時点)
- ④回復期リハ病棟実務経験 1 年以上(第 1 クール初日時点)
- ⑤施設長、または上司の推薦
- ⑥本認定セラピストの趣旨を理解し回復期リハビリテーション病棟の質向上に対し強い意志を有する
- ⑦全研修日程を通して参加する(遅刻・早退・中抜けは認められません)

注 1 現在、回復期リハビリテーション病棟に所属していることが必要です。

注 2 申込みされる前に、必ずキャンセル規約、認定規約および運営細則をお読みください。(別添)

<⑤申込方法<必ず事前にご確認をお願いします>

ステップ 1

*** 受付開始:2025 年 1 月 30 日(木)11:00～(満席になりましたら、受付終了となります)**

当協会の「研修会 WEB 申込システム」(<https://rehabili.force.com/member/s/>)より申込受付をお願いします。(研修会システムは、当協会ホームページからも確認可能です。)

ステップ 1 にて申込受付した順番にて、先着順とさせていただきます。システム申込完了後に申込担当者メールアドレスに必ず受付完了メールが届きます。メールをもって、正式に受付完了となりますので、届かない場合は必ずご連絡ください。

ステップ 2

*** ステップ 1 完了後にご提出をお願いします。**

上記受付完了メールにて「応募理由、推薦書」のフォーマット(以下サンプル)がダウンロードできるようになっております。ステップ 1 にて申込受付は完了しておりますが、受講審査がございますので原則

1 週間以内に FAX03-5281-8535(事務局)まで「応募理由、推薦書」のご提出をお願いします。ご提出頂きましたら、順次受講審査を行いますので、受講許可通知連絡までお待ち頂きますようお願いいたします。

受講許可通知連絡は、FAX にてご連絡します。(審査期間:約 1 ヶ月～1 ヶ月半)

参考:回復期セラピストマネジャーコース 認定までの流れ

PTOTST委員会 受講可否 審査→FAXにて受講許可通知(約1ヶ月半程度)



受講料の納入完了



第1回目研修会 2日間

第2回目研修会 4日間

第3回目研修会 5日間

第4回目研修会 4日間

第5回目研修会 2日間



11/4(火):認定試験(全日程受講者のみ)



合否審査(PTOTST委員会)→理事会承認→認定合否連絡



認定証授与式(12/11:AP東京八重洲)



第1回目の更新

※5年後に認定更新

(5年間に必須ポイントを含む50ポイント獲得必要)

参考プログラム：回復期セラピストマネジャーコース 2024 年度 14 期 講義実績 (敬称略・順不同)

※2024 年度 14 期の実績ですので、2025 年度は予告なく変更になる場合があります。

講義タイトル	講師姓	講師名	講義タイトル	講師姓	講師名
回復期リハビリテーション病棟の現状と課題	三橋	尚志	回復期リハ病棟における療法士の基本5「セラピスト10か条⑨」	佐伯	まどか
回復期リハビリテーション病棟協会 セラピストマネジャーの意義	井手	伸二	回復期リハ病棟における療法士の基本3「セラピスト10か条⑥」	高岡	佐和子
回復期リハビリテーション病棟の歴史と意義	岡本	隆嗣	地域リハビリテーションⅡ	大田	仁史
グループワーク・個人ワークのオリエンテーション	PTOTST委員会		リハビリテーション科専門医の役割	園田	茂
グループワーク・情報交換	PTOTST委員会		回復期リハ病棟におけるSTの専門性	森田	秋子
グループワークⅠ(10か条)	PTOTST委員会		障害受容に関する理論	粟生田	友子
脳卒中の理解	宮井	一郎	リハビリテーション医療に必要な運動学	大高	洋平
ICFに基づいた課題抽出と目標のあり方	菅原	英和	組織論・管理学・教育学	北浦	暁子
地域包括ケアシステム推進に向けたPT・OT・STの役割	川越	雅弘	地域リハにおける災害リハビリテーション	栗原	正紀
回復期リハ対象の運動器疾患の理解	西村	一志	メンタルヘルスクエア対策	中川	智子
回復期リハ病棟における療法士の基本2「セラピスト10か条④⑧」	酒井	太郎	看護師の役割	一宮	禎美
嚥下障害	椎名	英貴	グループワークⅡ(5か条)	PTOTST委員会	
自施設に活かす医療安全管理	山上	潤一	病棟マネジメントと業務改善	池田	吉隆
リハビリテーションマインド	浜村	明德	管理栄養士の役割	影山	典子
障害者のリハビリテーションと社会制度	菊地	尚久	マネジメントにおけるデータ管理	山本	恵仙
回復期リハ病棟における療法士の基本1「セラピスト10か条②③」	山中	誠一郎	回復期リハ病棟における療法士の基本6「セラピスト10か条⑩」	渡邊	光子
回復期リハ病棟における療法士の基本4「セラピスト10か条⑦」	後藤	伸介	病棟マネジメントに必要な労務・経営・財務管理と法令順守	高橋	誠
リハの目標設定とインフォームド・コンセント	小泉	幸毅	介護福祉士の役割	磯部	香奈子
頭部外傷の理解	中村	俊介	脊髄損傷の理解	土岐	明子
病棟運営の基本 ～協働～	佐藤	浩二	通所リハの本質と今後のあり方	近藤	国嗣
転倒・転落の考え方と対策	宮坂	裕之	住宅改修とテクノエイド	河添	竜志郎
認知症・せん妄の理解と対応	桑田	美代子	障害者・高齢者の生活再建と社会復帰	澤	俊二
終末期ケア	桑田	美代子	地域リハ広域支援センターにおける療法士の役割	渡部	祐介
心疾患の理解	森嶋	克昌	地域リハビリテーションⅠ	澤村	誠志
第2クールまとめ	PTOTST委員会		病棟マネジメントⅠ	和田	仁美
高次脳機能障害のリハビリテーション	橋本	圭司	ソーシャルワーカーの役割	牛島	寛文
廃用症候群とリハビリテーション	里宇	明元	地域リハビリテーションⅢ(地域の中での医療機関の役割)	斉藤	正身
チームSTEPPS ～エビデンスに基づいたチームトレーニング～	渡邊	進	人づくり～医療現場での教育・育成～	下田	静香
訪問リハビリテーション	宮田	昌司	歯科・口腔のリハビリテーションの実際	古川	由美子
回復期リハ病棟におけるPTの専門性	奥山	タ子	グループワークⅢ(セラマネのマネジメント)	PTOTST委員会	
日常診療に潜む倫理問題に気づき、対処するために	稲葉	一人	チームづくり～リーダーシップとマネジメント～	堅田	由美子
管理者が知っておくべき現場トラブルの対処と予防	村永	信吾	体験発表(先輩認定セラピストマネジャー)	PTOTST委員会	
回復期リハ病棟におけるOTの専門性	坂田	祥子	マネジメント実践発表	PTOTST委員会	
生活期リハ「介護予防・日常生活支援総合事業」	霜下	和也	マネジメント実践発表	PTOTST委員会	
			研修会後に取り組みたいこと・情報交換	PTOTST委員会	

